

①KPオリエンテーション

**石碑に込められた思い**

～ハンセン病問題をなぜ学ぶのか～

# 令和3年4月1日 楓の森小・中学校開校

- 建設計画始動  
(2015年5月20日～)
- 建設費…約69億円
- 菊池恵楓園横の菊池  
医療刑務支所跡地に  
建設されました

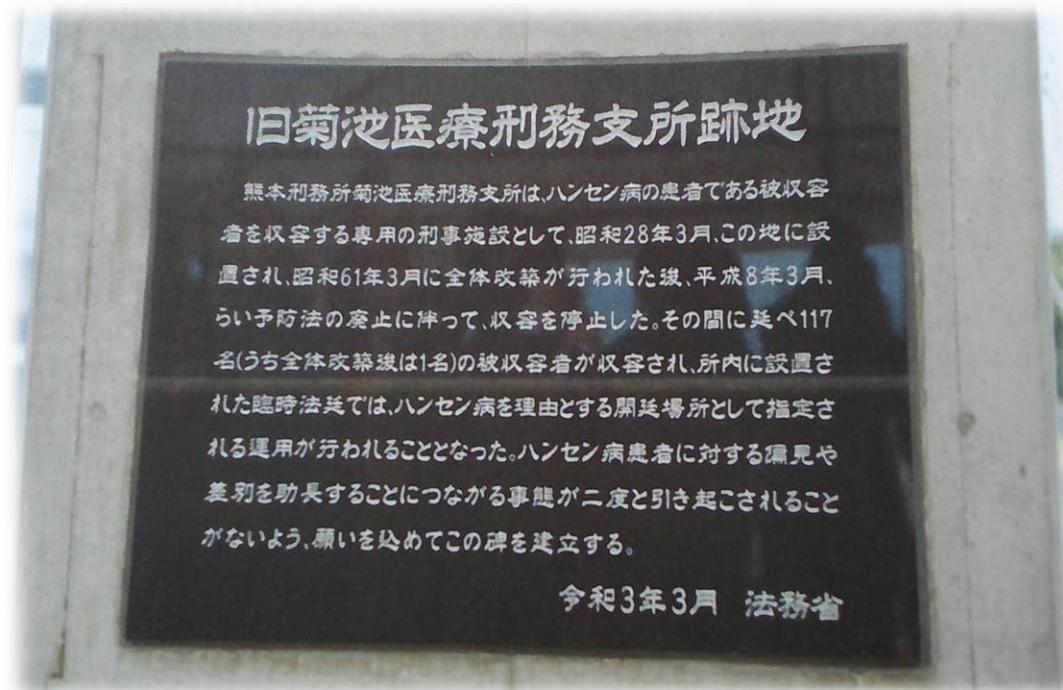


# みなさん、この石碑知っていますか？

この石碑には

「ハンセン病患者に対する  
偏見や差別を助長すること  
につながる事態が二度と引  
き起こされることのないよ  
う、願いを込めてこの石碑  
を建立する」

と書かれています。



## どういう意味だろうか？

# 自治会 志村さん・太田さんからのメッセージ

跡地を学校教育に活用してほしいと学校建設に合意しました。この学校が人権教育のモデル校となることを期待しています。

同地区で学ぶ者として、恵楓園の歴史やハンセン病問題について正しく理解し、さらに学習を深めてほしいと願っています。そして、皆さんで恵楓園の自然と歴史を守っていただければと思っています。



**ハンセン病問題は終わっていない。**

	合志楓の森小学校			合志楓の森中学校		
	低学年	中学年	高学年	1年	2年	3年
目指す子ども像	・菊池恵楓園を地域の身近な場所に感じられる子ども。	・自分たちの住む校区に菊池恵楓園という場所があり、そこがどのような場所なのか大まかにわかり、大切にできる子ども。	・ハンセン病に関する正しい知識を知り、恵楓園で暮らされている方の思いに寄り添おうとする子ども。	・小学校までの学習を振り返り、当事者の方の思いを聴くことで、自分事としてハンセン病問題と向き合おうとする子ども。	・ハンセン病問題の歴史から差別を見抜き、正しく判断する力を身につけた子ども。	・学校や地域誇りをもち、ハンセン病問題について今まで学んできたことや、自分たちの思いを地域や社会に発信できる子ども。
学習内容	・ハンセン病についての正しい知識を身につける <おさえる内容> ○病気は治っていて、回復者の方しかない ○うつらない ○治す薬が見つかって怖い病気ではない		・具体的な差別のことについて知る <おさえる内容> ○なぜ菊池恵楓園があるのか（後遺症等） ○様々な差別の歴史 ○菊池恵楓園での生活	・ハンセン病についての正しい知識を身につける（行動力・実践力） ・ハンセン病問題の事例から差別を見抜き、正しく判断する力をつける（差別をしない、差別を許さない生き方を学ぶ） ・ハンセン病問題や菊池恵楓園について学習したことを伝える力をつける <おさえる内容> ○回復者の方々の思いに寄りそうことの大切さ ○菊池恵楓園に隣接し、菊池医療刑務支所跡地に建つ合志楓の森小・中学校 ○これから自分たちに何ができるのか		

# KAEDE'S PRIDE PROJECT 始動

合志楓の森小・中学校での9年間のハンセン病学習を通して、私たちが何を語り継ぎ、何を大切にしていけるのかを学び考える



私は、合志楓の森小・中学校は、  
人権教育の場として最高の場だと  
思っています。

人との関係でなく、まずは自分  
自身の生き方を早く見出すことが  
大切だと考えます。出来ないでは  
なく、自分はどうするかを考え、  
中学生の皆さん、しっかりと自己  
実現に向かって頑張ってください。  
応援しています。

5月には新しく歴史資料館もリ  
ニューアルオープンします。ぜひ、  
楽しみにしておいてください。

菊池恵楓園入所者自治会会長 志村 康



去年はこんな学習をしたね！  
ハンセン病の医学的事実を正しく学ぶ

**正しく学習できているか、  
復習してみましよう！**

# ＜第1問＞

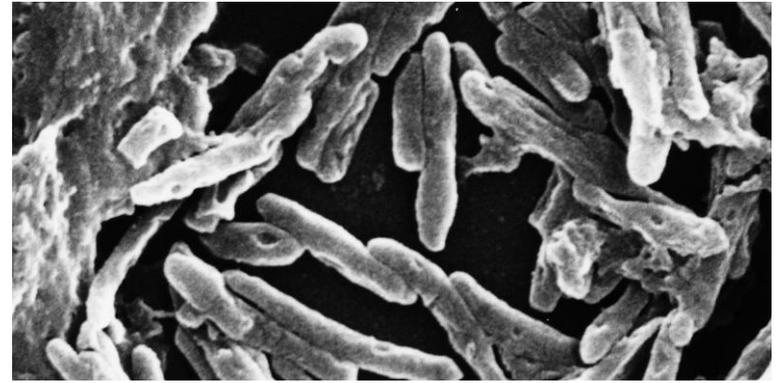
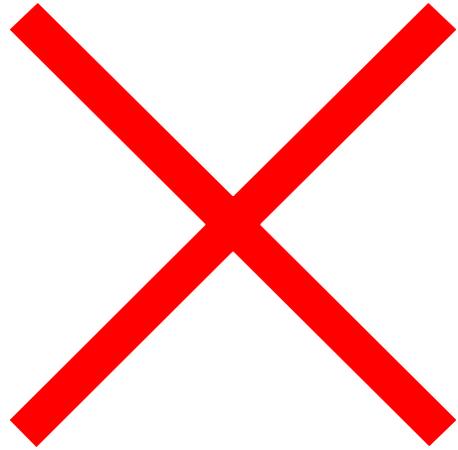
ハンセン病の感染源である  
「らい菌」の感染力は、  
とても強い。

○

or

×

# <第1問の答え>



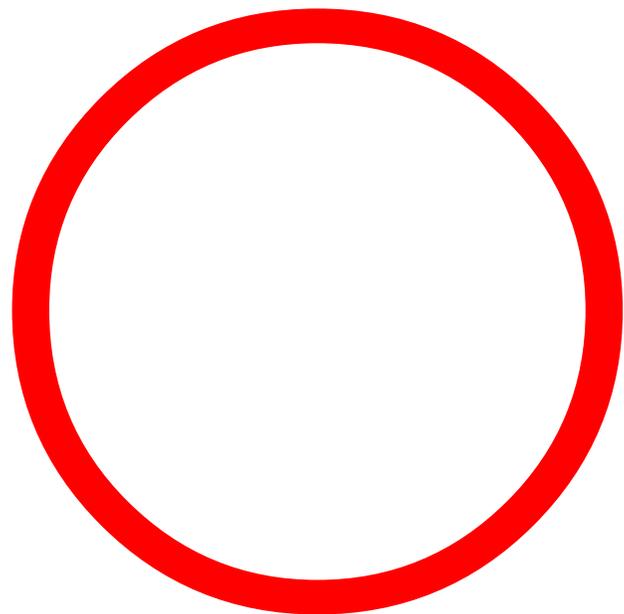
「らい菌」の感染力は、とても弱く  
人から人に感染することはない。

## <第2問>

ハンセン病は治る  
病気である。

○ or ×

# <第2問の答え>



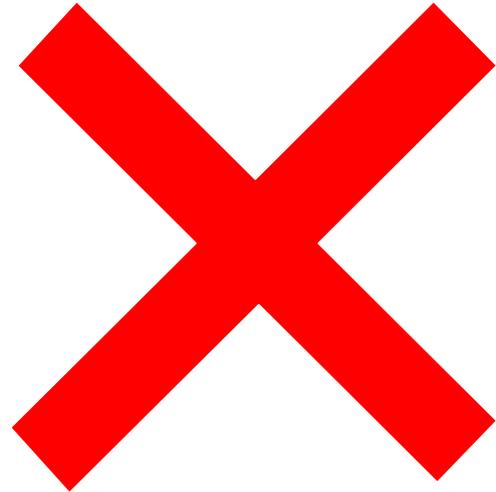
ハンセン病はプロミンという薬で治る！  
現在ハンセン病の方は日本にはいない！

## <第3問>

ハンセン病にかかっても  
自由な暮らしができた。

○ or ×

# <第3問の答え>



治る病気になっても、国による隔離政策が続いた。それによって差別が助長された。

# 今年もハンセン病学習を始める前に

- ハンセン病とは（ **らい** ）菌の感染によって起こる、感染症です。
- 菌の感染力としては非常に（ **弱** ）く、人から人に感染することは（ **ない** ）といわれています。
- ハンセン病は、プロミンという薬で（ **治ります** ）。
- 原因や治療法は早くからわかっていたのにもかかわらず、国によって長年（ **隔離** ）政策が行われました。そのことが、ハンセン病に対する（ **差別** ）を助長しました。
- 今現在、日本にハンセン病の患者は（ **いません** ）。  
しかし、まだハンセン病問題は終わっていません。

**「ハンセン病問題は終わっていない」  
と言われたのは、なぜだろう？**

ハンセン病はなくなっても、ハンセン病をめぐり差別はなくなっていない。問題なのは、ハンセン病であるか、ないかということではなく、差別をする人や偏見をもった人・社会があること。

**人はなぜ差別をするのか？**

# KAEDE'S PRIDE PROJECT

## 中学2年生

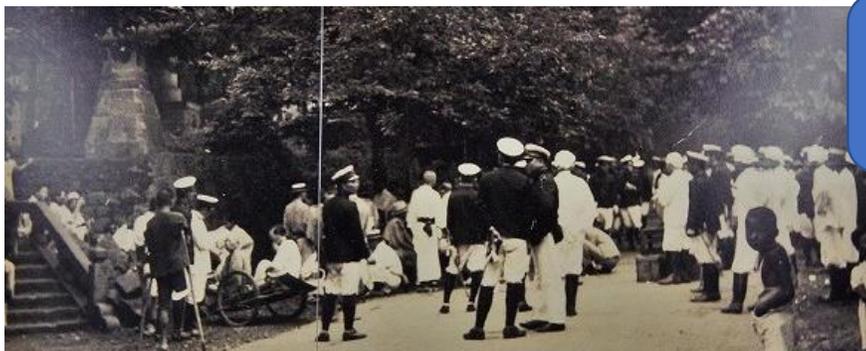
合志楓の森中学校		
1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を振り返り、当事者の思いに寄り添い、自分事としてハンセン病問題と向き合おうとする子ども。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンセン病問題の4大差別事件の歴史から差別を見抜き、差別を見抜き、正しく判断する力を身につけた子ども。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や地域誇りを持ち、ハンセン病問題について今まで学んできたことや、自分たちの思いを地域や社会に発信できる子ども。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンセン病についての正しい知識を身につける（行動力・実践力）</li> <li>ハンセン病問題の事例から差別を見抜き、正しく判断する力をつける（差別をしない、差別を許さない生き方を学ぶ）</li> <li>ハンセン病問題や菊池恵楓園について学習したことを伝える力をつける</li> </ul> <p>&lt;おさえる内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○回復者の方々の思いに寄りそうことの大切さ</li> <li>○菊池恵楓園に隣接し、菊池医療刑務支所跡地に建つ合志楓の森小・中学校</li> <li>○これから自分たちに何ができるのか</li> </ul>		
医学から見る	歴史から学ぶ	人権回復とこれからの生き方

### 差別の歴史から学ぶ

- ・ハンセン病をめぐってどんなことが起こったのか？
- ・なぜ、偏見や差別が起こったのか？なくならないのか？

# 今まで、ハンセン病をめぐって 様々な差別事件が起こりました

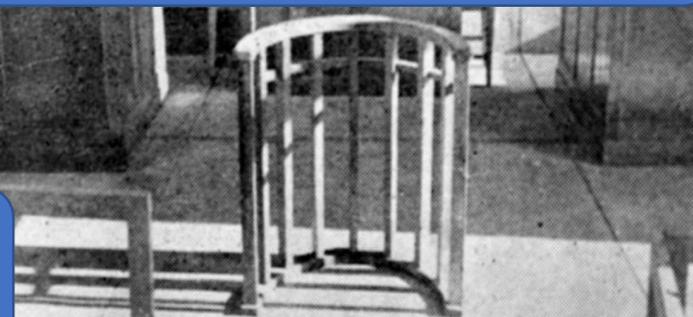
## 菊池事件



## 本妙寺事件



## 立田寮事件



F事件での脱出風景 1962(昭和37)年6月



## 黒川温泉 宿泊拒否事件

# ハンセン病をめぐる 4大事件を調べて、 現代に問題提起しよう！

本妙寺事件

立田寮事件

菊池事件

黒川温泉宿泊拒否事件

# 【 調査テーマ 】

1. 事件の内容（歴史的事実）
2. この事件のどこがおかしいのか
3. 私たちの生活との重なるところ、  
問題提起

# この石碑に込められた思いを受けて 自分はこれからどうするのか

今日の授業を通して、  
あなたはこれからの学  
習とどう向き合ってい  
きたいですか？

授業の感想とともに  
書きましょう。

